

令和元年 10 月 4 日

議会議長 中 野 博 様

総務建設委員長 市 川 政 明

総務建設委員会の管外行政視察について（報告）

令和元年 6 月 21 日にご承認いただいた総務建設委員会の管外行政視察を実施いたしましたので、その結果を次のとおり報告いたします。

記

- 1 実施日 令和元年 7 月 25 日（木）から令和元年 7 月 26 日（金）
- 2 参加者 総務建設委員 8 名
議会事務局職員 1 名
- 3 視察場所 栃木県益子町
茨城県常陸太田市
- 4 視察概要 別紙のとおり

総務建設委員会管外行政視察報告書

栃木県益子町（有害鳥獣対策について）

益子町西明寺地区では、イノシシ被害対策として平成 26 年度から栃木県の「獣害に強い集落づくり推進事業モデル集落」の指定を受け、地域住民自らが主体となり、町と連携して被害対策への取り組みを開始した。

地区での取り組みとしては、センサーカメラの設置や被害状況調査を行い被害場所、要因を分析し、イノシシの生態や習性について学習会を開催するなど地域住民、町、県など関係者が協力して被害対策計画を策定した。

また、わなでの捕獲とあわせてワイヤーメッシュや電気柵を地区関係者で設置し、イノシシの隠れ場所となる藪の刈り払いを実施しているほか、農地周辺の草刈りを行い見通しの確保や電圧・電牧線チェック、防護柵の見回りなど日ごろから点検し、適切な管理を行うことで作物被害が減り、イノシシ侵入の痕跡もなくなってきている。

この住民自らが主体的に計画・実施した有害鳥獣対策によって獣害に強い集落が形作られて被害も大きく低減され、イノシシを寄せ付けない地域づくりが進んでおり、実践的な取り組みを確認することができた。

当町においても深刻化する有害鳥獣の被害に対して、地域と連携した持続的・効果的な取り組みが必要である。

茨城県常陸太田市（持続可能な地域公共交通について）

常陸太田市は、平成 28 年 3 月に持続可能な地域公共交通を構築するためマスタープランとして「市地域公共交通網形成計画」を策定し、この計画に基づく「市地域公共交通再編実施計画」を策定した。

主な再編内容は、「多様なバス路線の再編・整理」と「バス運賃の統一」で、運行ルートや運行時間が重複していた市民バス・スクールバス・患者輸送バスを路線バスへ統合して効果化を図った。

また、市内路線バスの運賃を距離に応じて 3 つの価格帯に統一することにより、利用者にわかりやすい運賃を示し、交通形態ごとに異なる運賃差を無くして公平な運賃体系への見直しを行った。

再編後は、市内公共交通を全て網羅した「公共交通マップ」の作成や、バスの乗り方、ICカードの使い方を学ぶ「路線バスツアー」を開催、地域での説明会を開催するなど、総合的な取り組みを実施して利用促進に努めていた。

当町においても持続可能な地域公共交通網の構築に当たっては、利用者や地域のニーズを的確に捉えて丁寧な説明を行うとともに交通事業者と綿密に調整・協議し、協力を得ながら実情に即した公共交通施策の検討が必要である。